

敬老事業フォーカスグループインタビュー

フォーカスグループインタビューとは

複数の対象者に対し、座談会形式でインタビューを行う調査方法。
アンケート調査などの定量調査では捉えきれない市民の潜在的なニーズ
やご意見を収集することが目的

日 時 令和2年2月27日（木）19時

会 場 フィランセ 西館3F 会議室

対象者 9月に実施した「敬老事業に関するアンケート」において
インタビューへご協力の意思表示をしていただいた149名中
参加していただいた13名

（年代内訳）20代 1名、40代 3名、50代 1名

60代 1名、70代 5名、80代 2名

（性 別）男性 11名、女性 2名

内 容 問1 あなたは敬老会に出席しますか？また、今後の敬老会の必要性に
ついてのお考えをお聞かせください。

- ・出席する 8、出席しない 3、わからない 2
- ・必要性ある 7、必要性ない 4、わからない 2
- ・対象年齢あげるべき
- ・地域のコミュニケーション、支えあいが大事。
- ・対象者が楽しみにしている。
- ・敬老意識の醸成
- ・参加率低く、必要性感じない

問2 祝金（77歳・80歳・90歳・99歳に5,000円を贈呈）について

- ・縮小 8、廃止 4、継続 1
- ・不公平感が出ないように、生涯に1回もらえる制度にしたらどうか。
- ・88歳米寿祝のみでいいと思う。
- ・別の事業に使ったらどうか。
- ・金額を下げ対象年齢区分を変えない。

問3 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業の
に振り分けるとしたらどのような事業を充実させて欲しいか。

- ・高齢者のための公共交通補助、バス・タクシーの充実
- ・新富士駅、富士駅周辺の再開発
- ・若年層に魅力的な商業施設誘致
- ・福祉事業、サロンの充実
- ・学校の環境整備
- ・保育や介護職の待遇改善

フォーカスグループインタビュー

フォーカスグループインタビューとは

複数の対象者に対し、座談会形式でインタビューを行う調査方法です。アンケート調査などの定量調査では捉えきれない市民の潜在的なニーズやご意見を収集する事が目的です。

頂いたご意見がすぐに反映されるわけではありませんが、今後の事業の参考とし、施策に活かすために実施させていただくものです。

【方法】 過日実施した「敬老事業に関するアンケート」においてインタビューへのご協力の意思表示をしていただいた方にご案内を送り、参加可能な方にお集まりいただき、グループに分けて行います。
お伺いしたい内容は以下のとおりですのでよろしくお願いいたします。

- 【内容】**
- 1 あなたは敬老会に出席しますか？また、今後の敬老会の必要性についてのお考えをお聞かせください。
 - 2 祝金（77歳・80歳・90歳・99歳に5,000円を贈呈）についてどのように思いますか。
 - 3 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業に振り分けるとしたらどのようなサービス・事業を充実させてほしいと思いますか。